

太陽と微生物の力で土づくり 高知の夏はコフナ・ソーラー法

地力活性のために高知県の様々な品目で微生物資材コフナが使用されています。2018年夏に初めてコフナ・ソーラー法を取り組んだナス青枯病発生圃場では、青枯病発病ポテンシャルが3から1へと下がり、栽培中は青枯病のような症状が出ず、前年を上回るペースで収穫ができました。栽培終了後の土壌分析でも青枯病発病ポテンシャルは1のままでした。

19年夏も、土壌微生物相の多様化と土づくりを目的に、コフナ+残渣+低濃度エタノールを投入し、約1ヶ月間、畝上げした状態で土壌還元消毒型コフナ・ソーラー法を実施。定植前の青枯病菌密度は変わらず検出限界を下回り、コフナ使用2年目も順調にナスを出荷しています。

土壌微生物を多様化させ、
地力を上げる
好嫌気性複合微生物資材

コフナ®



畝上げソーラー法



高知ナス
今年も
順調に出荷中!!

■アグロカネショウ株土壌分析室 / 土壌分析結果 (生物性) 報告書抜粋

		病害虫名	分析方法	分析値	単位	発病ポテンシャル
2018年	実施前	青枯病菌	希釈平板法	1.7 × 10 ⁵	cfu/g (乾土)	3 (高い)
	実施後			< 10 ²		1 (低い)
2019年	栽培終了時	青枯病菌	希釈平板法	< 10 ²	cfu/g (乾土)	1 (低い)

【栽培終了後、7月下旬～8月下旬で畝上げしたままコフナ・ソーラー法実施 (2年目)】

2019年	定植前	青枯病菌	希釈平板法	< 10 ²	cfu/g (乾土)	1 (低い)
-------	-----	------	-------	-------------------	------------	--------

※発病ポテンシャルについて 3…発病リスクが高い菌密度 1…発病リスクが低い菌密度

コフナ農法普及協議会 事務局 / ニチモウ株式会社内
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-20-2
TEL.03-3458-4369 FAX.03-3458-4329
E-mail : info@kofuna.jp WEB : http://www.kofuna.jp

